

# 千代野小物語 NO.7

—かしこく やさしく たくましく —



## ◆ 前期学校評価の結果をお知らせします ◆

7月にご協力いただきました学校評価アンケート（保護者・児童）の結果がまとまりましたので、ご報告します。学校評価を、今後の教育活動に活かしてまいります。

♪ **保護者アンケート** 〔%は、肯定的評価（Aよく当てはまる・Bやや当てはまる）です。〕

質問項目	前期	後期
① お子さんは自分の思いや考えを言葉で伝え、主体性が感じられるようになった	82%	
② 学校公開等、各種お便り、HP等で学校の様子がよくわかる	87%	
③ お子さんは、学校は楽しいと思っている	91%	
④ お子さんは、授業は分かりやすいと思っている	85%	
⑤ お子さんはきちんと家庭学習をする習慣が身についている	76%	
⑥ お子さんの考えを受容し、励ましている	81%	
⑦ お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	92%	
⑧ お子さんはきちんと挨拶をしている	82%	
⑨ お子さんは家でお手伝いをしている	61%	
⑩ お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」等、規則正しい生活をしている	80%	

⑨「お手伝いをしている」については61%と低い値となりましたが、児童アンケートの⑩「委員会やたてわり活動、係活動など自分から進んで取り組んでいる」では90%と高い値でした。この結果から、学校での役割を主体的にする姿が、家庭の姿と結びついていないことがわかります。児童会活動や学級活動で学んだことを、生活にどう生かしたいかなどを問い、意識させることで学校生活と家庭生活がつながるようにしていきます。また、ご家庭でもお手伝いなどの役割をあたえ、家族の一員としての自覚を持たせていただけたらと思います。

③「お子さんは、学校は楽しいと思っている」、児童アンケート③「学校は楽しい」についてはおよそ1割の保護者、児童が否定的評価となっています。楽しさを感じない要因は様々あり、1つの取り組みでは改善されません。学校は「わかる授業をする」「ほめて伸ばす」「ひとりひとりが活躍できる場を設定する」「安心して生活できる場にする」等の取り組みを通して、どの子にとっても楽しい学校を目指していきます。

また、自由記述でいただきましたご意見やご質問について、うれしい言葉をたくさんいただきありがとうございました。主なご意見を載せました。また、改善すべき点につきましては、今後取り組みを考え早急に対応していきます。

### 保護者アンケートの自由記述一部抜粋

- ・先生が遊びに参加してくれることで子供の様子をしっかり見る時間、子供を理解してくれる時間にしてもらっていると感じます。
- ・好き嫌いが多かった子どもが給食を美味しいと食べているようで安心しています。

### テトル配信について

迅速、確実に情報を伝えられること、カラーで分かりやすいことなど好評をいただいております。一方、写真画像が鮮明となり、プライバシー保護の観点からより配慮が必要になります。また、用紙のたよりが便利な場合があります。用途によってテトルと用紙を使い分けていきます。

### 運動場トイレについて

使用しづらいトイレであることは、学校でも把握しております。市教育委員会に改善の要望をしています。

### 学校指定シューズについて

現在使用の学校指定シューズは購入出来る店舗が限られている、他のもの比べて高額であるとのご意見がありました。今後は、これまでのシューズを学校としては推奨としますが、それ以外の白ズックも可とします。その場合、かかと部分に名前を書き、内履きは青、外履きは赤のアンダーラインを引いてください。

## ♪ 児童アンケート 〔%は、肯定的評価（Aよく当てはまる・Bやや当てはまる）です。〕

質問項目	前期	後期
① 何事にもすすんで取り組んだり、チャレンジしたりするようになった	89%	
② 思ったことや考えたことを言葉で伝えている	80%	
③ 学校は楽しい	91%	
④ 授業は分かりやすい	89%	
⑤ 相手に伝わるように、自分の考えや思いを書いたり、話したりしている	83%	
⑥ 学年できめられた時間、家で勉強している	86%	
⑦ 相手の気持ちを考えて行動している	92%	
⑧ いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	85%	
⑨ 相手に伝わる挨拶ができています	91%	
⑩ 委員会やたてわり活動活動、係活動など自分から進んで取り組んでいる	90%	
⑪ 早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、規則正しい生活をしている	80%	

すべての項目について肯定的評価が80%を超えています。学校生活が概ね良好であると言えます。

学習について④「授業はわかりやすい」は肯定的評価が89%となっており、学びに対する意識が高いことがわかります。しかし、②「思ったことや考えたことを言葉で伝えている」⑤「相手に伝わるように、自分の考えや思いを書いたり、話したりしている」の学びの活用は少し評価が低いようです。授業では多様な考えを出し合い、そこから共通点を考えたり、比較して考えたり、不十分な考えを補ったりしながら学んでいます。また、ペアやグループの話し合いの場を設け、一人ひとりの発言量を増やします。

⑦「相手の気持ちを考えて行動している」は評価が高く、多くの児童が友達に優しく声をかけたり、助け合ったりしている姿が見られます。引き続き道徳科の学習や日々の学校生活において思いやりの心を育て、保護者の皆様にも授業参観やお便り等を通して優しく周囲とかかわる児童の姿をお伝えしていきたいと思っております。